

環境経営レポート

【2020年度】



対象期間:2020年4月1日～2021年3月31日
発行日:2021年6月30日

1. 環境方針	．．．	3
2. エコアクション21機構図（適用範囲）	．．．	4
3. 主な環境経営活動計画（部署別）	．．．	5
4. 主な環境経営活動（その他）	．．．	6
5. 実績と環境経営目標	．．．	7
6. 環境経営活動の達成状況 評価及び2021年度の取組	．．．	8～10
7. 環境関連法規の順守状況と関連事項	．．．	11
8. 代表者による全体評価と見直し結果及び指示事項	．．．	12

基本理念

株式会社ナガノトマトは、豊かな自然環境に恵まれた信州松本の地で、安全で安心な食料品の製造を行っています。このかけがえのない信州の自然を次の世代に引き継いでいくため、環境保全に対する認識を深め、あらゆる環境負荷の低減に取り組めます。

基本方針

1. 当社の事業活動において環境に与える影響を考慮し環境目標を定め、全社員が環境保全に取り組む、環境マネジメントシステムによる環境汚染の予防と継続的改善に取り組めます。
2. 下記の項目については、優先的に取り組めます。
 - (1) 省エネルギーの推進
 - (2) 省資源・生産性向上の推進
3. 環境関連の法律・規制・協定を順守します。

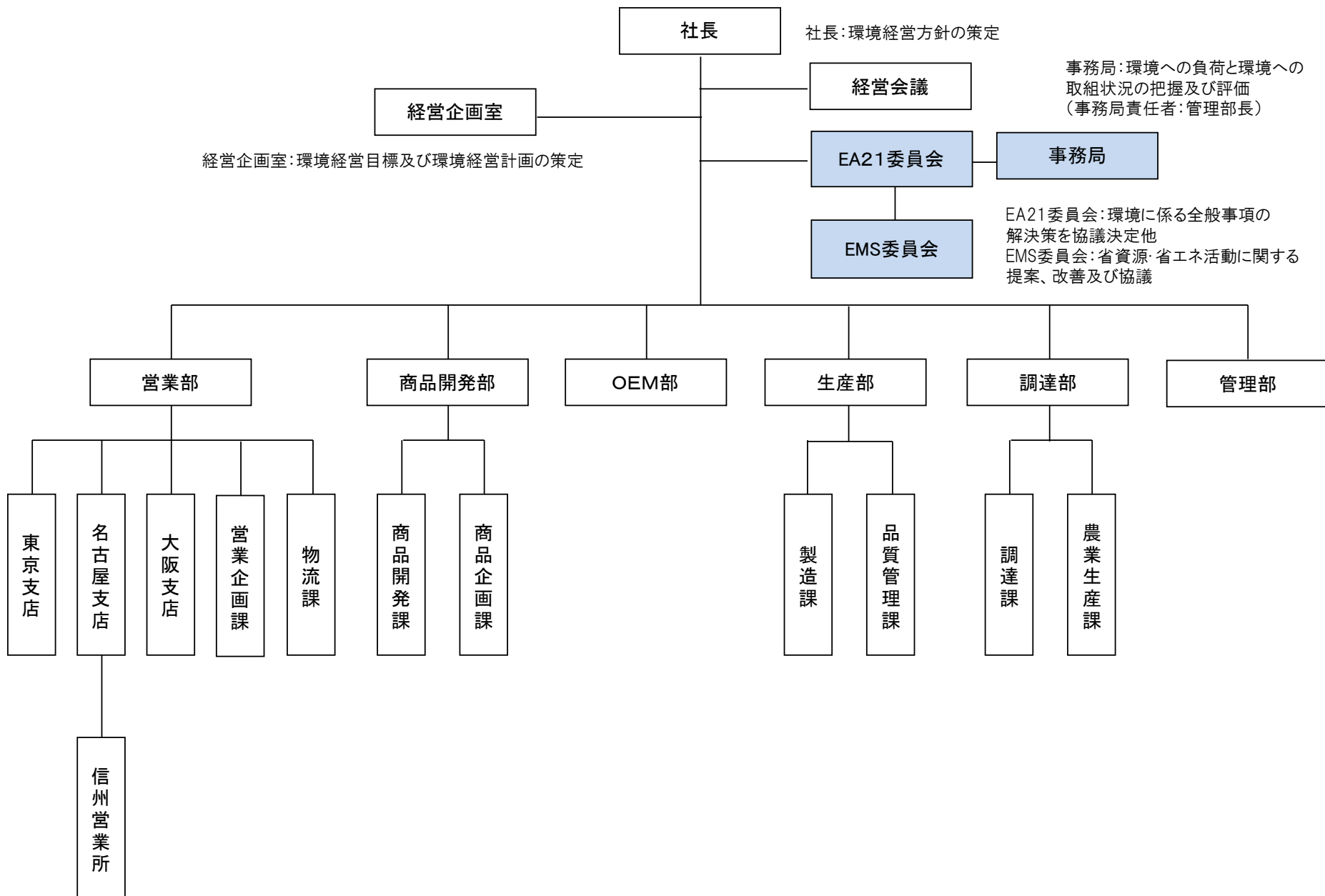
2019年8月1日



株式会社ナガノトマト
代表取締役社長

井垣孝夫

エコアクション21機構図(適用範囲)



主な環境経営活動(その他)

■EMS委員会の開催

・EMS目標の進捗管理、廃棄物排出実績及びエネルギー使用状況報告、是正措置の決定、工程内廃棄物の削減による廃棄物排出量の削減、各部署における環境負荷低減活動報告等を月1回開催しました。

■非常事態訓練の実施

・8/17:タンク原料流出 ・9/14:排水

■社員教育の実施(EA21推進に向けて)

・8/17:本社
・12/17~26:東京支店・名古屋支店・大阪支店・物流課
(研修資料を活用した自主学习)

■社内向け情報「環境ピックス」の発信(四半期毎)

・6/19 ・9/15 ・12/18 ・3/16

■環境美化活動の実施(本社構内,構外清掃活動)

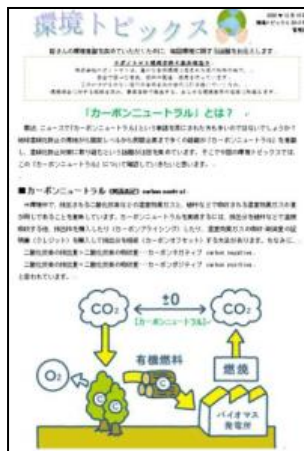
・4/22 ・5/27 ・6/2 ・6/25
・7/29 ・8/26 ・9/2 ・10/3

■フロン使用機器簡易点検の実施

・6,9,12,3月:各部署にて点検実施



8/17社員教育



12/18 環境ピックス



9/14非常事態訓練

全社目標	目標値	単位	2018年度	2019年度	2020年度			2021年度	2022年度	2023年度
			実績	実績	目標	実績	達成状況	目標*6)	中期目標*7)	
二酸化炭素排出量削減 *1)		kg-CO ₂ /t	173.97	168.23	166.55	167.43	×	165.76	164.10	162.46
廃棄物排出量削減 *2)		kg/t	48.18	52.91	52.39	52.82	×	52.29	51.77	51.25
水使用量削減 *3)	前年比 原単位 1%削減	m ³ /t	13.03	13.73	13.59	14.74	×	14.59	14.44	14.30
食品廃棄物等発生量削減 *4) 及びリサイクル率100%維持		kg/t	5.50 100%	5.64 100%	5.58 100%	12.54 100%	×	12.41 100%維持	12.29 100%維持	12.18 100%維持
化学物質使用量削減 *5)		kg/t	0.6115	0.5639	2.04	1.97	○	1.95	1.93	1.91

サ
環
境
負
荷
低
減
の
改
向
善
上

2021年1月、ストレッチフィルムをバイオエタノール配合の製品に切り替え、CO₂排出量を約30kg削減する効果を得ました。

賞味期限評価方法の見直しによる再評価の結果、国産ジュースである「国産ふじりんご100」と「国産温州みかん100」の賞味期限を延長しました。*8)

*1)二酸化炭素排出量算出対象: 本社・工場の使用エネルギー・物流課・各支店の使用エネルギーの合計数値です

電力の二酸化炭素排出係数: 電気事業連合会公表数値 0.423t-CO₂/kWh(2005年)を使用しています

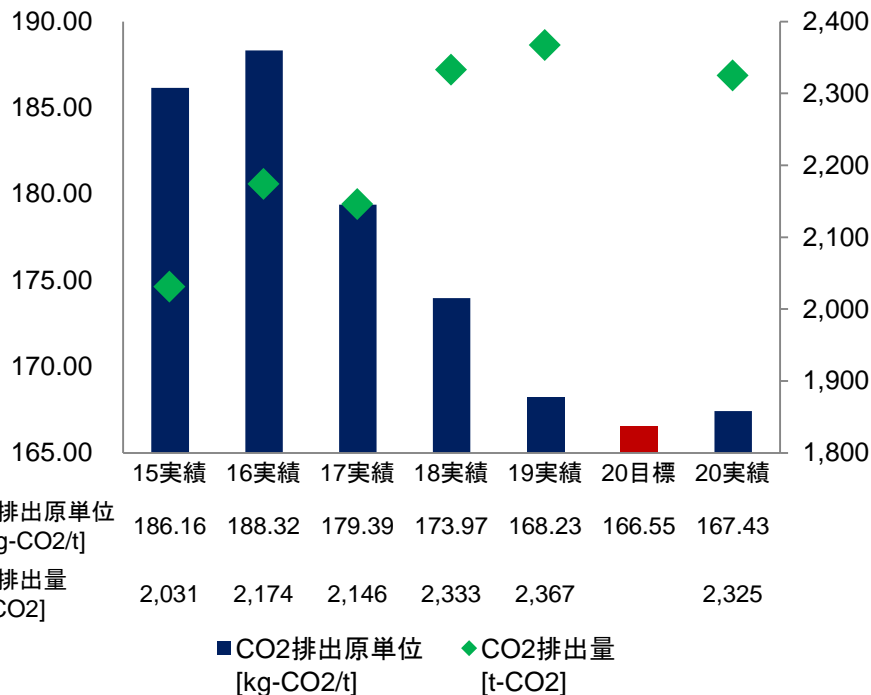
*2)*3)本社・工場の合計数値です

*4)本社・工場、物流課の合計数値です

*5)工場の数値です。2020年度より対象の化学物質の内容を変更したため、目標値を設定し直しています

*6)*7)2021年目標及び中期目標は、前年比原単位1%削減を目標として設定しています

*8)「国産ふじりんご100」5ヶ月⇒8ヶ月、「国産温州みかん100」5ヶ月⇒6ヶ月に変更(2021年4月以降の製造分より)



■二酸化炭素排出量削減

【評価(2021年3月末): ×】

2019年度実績に対して原単位1%削減を目標に設定しました。3月末で2020年度目標に対して0.5%の増加となりました。主な要因として、新工場の稼働に伴い電力使用量は増加、ガス使用量は減少しましたが、総量として二酸化炭素の排出量は若干増加しました。

【2021年度の取組】

エアリー漏れ箇所の修繕、新工場における特殊空調設備の効率的な運転方法を検討します。また新工場での電気使用量を抑える施策等を実施し、二酸化炭素排出量の削減を図ります。

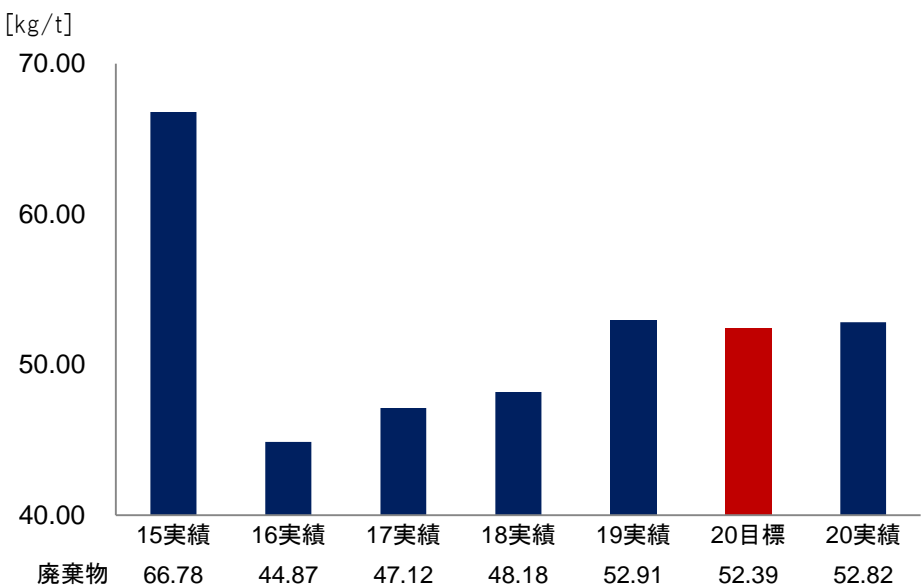
■廃棄物排出量削減

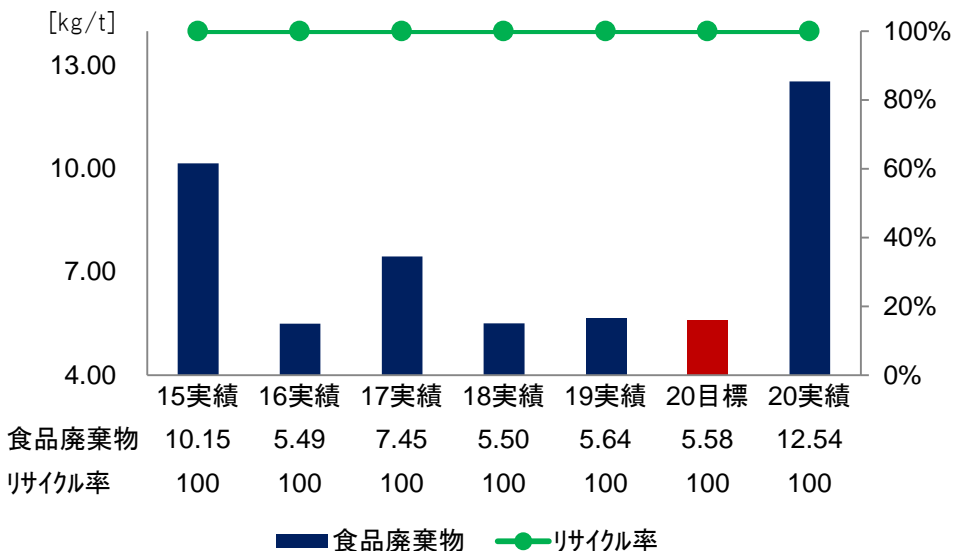
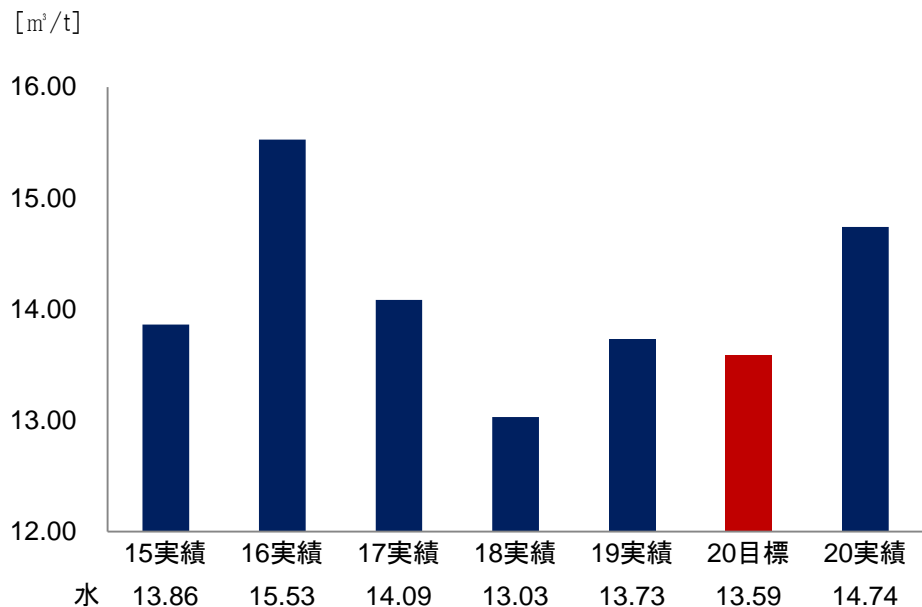
【評価(2021年3月末): ×】

2019年度実績に対して原単位1%削減を目標に設定しました。3月末で2020年度目標に対して0.8%の増加となりました。主な要因として、新工場立上げ時に使用したテスト資材が多く発生し、排出量が増加しました。

【2021年度の取組】

工程トラブル等の発生頻度を低減することで、梱包資材ロス等を低減し、廃棄物排出量の削減を図ります。





■水使用量削減

【評価(2021年3月末): ×】

2019年度実績に対して原単位1%削減を目標に設定しました。3月末で2020年度目標に対して8.5%の増加となりました。主な要因として、生産アイテムの構成変化と生産アイテムの増加に伴い、製品冷却水の使用量が増加しました。

【2021年度の取組】

処理施設の不具合を改善をすると共に、各部署でこまめな節水をおこない、水使用量削減を図ります。

■食品廃棄物等発生量削減

【評価(2021年3月末): ×】

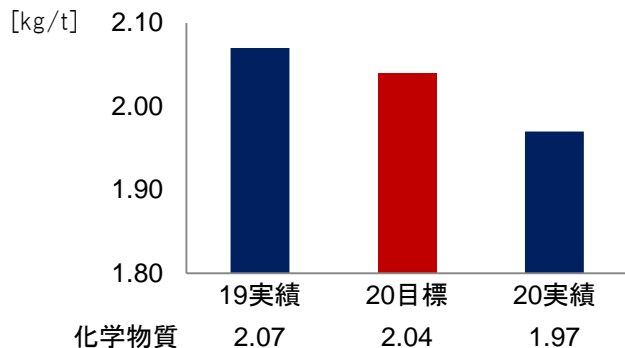
2019年度実績に対して原単位1%削減を目標に設定しました。3月末で2020年度目標に対して125%と大幅増となりました。主な要因として、工程トラブル等の発生頻度が大きく増加したため、昨年度よりも増加しました。

【2021年度の取組】

ケチャップボトルラインの落下ボトル削減及び製品廃棄量の削減を図り、食品廃棄物等発生量削減を目指します。

<2021年度_食品廃棄物等発生量及び再資源化等実施率>

- ・発生量:173.5t ・有価物量:0t ・発生抑制量:250.4t
- ・再生利用量:173.5t (メタン化:69.1t | 肥料化:104.4t)
- ・熱回収量:0t ・減少量:0t・再利用等以外の量:0t
- ・廃棄物としての処分量:0t・再生利用等の実施率:100.0%



※)これまで苛性ソーダのみを化学物質使用量の削減対象としてモニタリングしてきましたが、新工場への既存ライン移設と新規ライン増設に伴い、苛性ソーダの使用量が減少したため、2020年度は苛性ソーダの他、新たに4つの化学物質を削減対象に加え、改めて2019年度実績を抽出し、目標設定を行いました

■化学物質使用量削減

【評価(2021年3月末):○】

2019年度実績※)に対して原単位1%削減を目標に設定しました。3月末で2020年度目標に対して3.4%の削減となりました。主な要因として、効率的な製造が出来ており、使用量が削減されております。

【2021年度の取組】

効率的な製造体制を維持することにより、更なる使用量削減を目指します。

■製品の環境性能の向上及びサービスの改善

【評価(2021年3月末):○】

環境負荷低減に役立つ加工技術、新容器、原材料等の探索案件5件以上を目標に設定しました。調達課、商品開発課、商品企画課を対象部署に設定しました。3月末で探索案件は9件でした。探索案件の内訳は採用が3件、継続が4件、保留が2件になりました。

【2021年度の取組】

2020年度に引き続き、環境負荷低減に役立つ加工技術、新容器、原材料等の探索を継続し、更なる環境負荷低減に繋がる活動を推進していきます。

主な適用法規等	当社の順守状況
大気汚染防止法	ばい煙発生施設の新設なし (過去のばい煙に対する汚染負荷量賦課金の支払)
フロン排出抑制法	フロン機器の点検4回/年、定期点検1回/年の実施 フロン機器の廃棄時のフロンガス回収に対しての順守
水質汚濁防止法	排水処理の排出基準において超過なし
容器包装リサイクル法	再商品化義務量の報告 再商品化実施委託料の支払
廃棄物処理法 (一般廃棄物・産業廃棄物)	松本地域振興局環境課へ報告書提出 (6月) (マニフェストの交付に関する報告書の提出)
食品リサイクル法	前年度の食品廃棄物等の発生量が100t未満の為 関東農政局へ報告書は提出せず
騒音規制法	特定施設の新設なし
振動規制法	特定施設の新設なし
工場立地法	届出済
特定工場法 (公害防止組織法)	公害防止管理者 (大気四種) 選任

順守状況確認日：2021年1月7日

環境関連法規の順守に関して、過去3年間法令等の違反はありません。また関係当局よりの違反等の指摘はありません。

【環境方針・環境目標・環境計画及び実施体制変更の必要性】

- | | |
|-------|------|
| ・環境方針 | 変更なし |
| ・環境目標 | 変更なし |
| ・環境計画 | 変更なし |
| ・実施体制 | 変更なし |

【統括的な見直し指示】

- ・水使用量に削減効果が見られないので、引き続き監視と削減策の検討をしてください。
- ・間接部門においては「製品の環境性能の向上及びサービスの改善」に向けた目標設定を推進してください。

【2021年度の取組】

- ・環境負荷低減の為に、二酸化炭素排出量削減、廃棄物排出量削減、水使用量削減、食品廃棄物等発生量削減及びリサイクル率100%維持、化学物質使用量削減に引き続き取り組みます。
- ・水使用量の削減に向け、調査・対策を進めます。
- ・環境に配慮した製品づくりの為に、新規加工技術・新容器・原料等探索及び検討します。